

一 般 質 問

平成23年 9月20日 (火)

4番 池 端 英 昭 議 員

1. 豪雨災害対策について

①近年、局地的な集中豪雨が発生しているが、そのことによる道路の陥没や法面の崩落などの被害、又、河川の氾濫などによる農業被害など、大きな問題となっています。特に被害が集中している、厚田・浜益両区における未然防止対策について今後どのような考えを持っているのか伺います。

2. 水道料金問題と企業誘致への影響について

①石狩湾新港地域で操業している食品関連企業が、江別市への移転を検討している新聞報道がありました。その理由の一つとして現在利用している地下水が平成25年度の当別ダム給水開始に伴い使えなくなることから、現在の料金と比べ8倍もの負担増になる試算をはじき出したようなのですが、一体、そのような根拠や事実があるのか、現状における事実関係について説明を求めます。

②次に、現在石狩市では企業誘致に係る担当室を設置し、これまでも積極的な企業誘致活動を進めています。その折、この度のような工場移転問題が現実にかかることになれば、新規誘致どころか既存の企業にも何らかの影響を及ぼすのではないかと大変憂慮しております。市としては、今後何らかの対策が求められると思いますが、ご見解を伺います。

3. 銭函地区風力発電施設建設に対する市の対応について

①銭函に建設が計画されている民間の風力発電施設建設問題では、自然保護活動を行う市民団体が中心になって計画相手企業に対し、当該地区に生存する貴重な動植物などへの影響や低周波騒音などの問題に対する説明会の開催を求めています。しかしながら、未だ開催には至ってはおらず、先に申し上げたような影響について何ら情報がないままにあります。

石狩市は貴重な海浜植物を市民共有の財産として次の世代に残すため、植物の保護や、情報の提供などを行う市民活動の拠点として海浜植物センターを有しており、自然保護の認識を強く持っている自治体であります。

したがって、行政区域外の事案ではありますが、石狩市としても風力発電事業者に対して環境影響に関する説明会の開催を申し入れることは考えていないか伺います。

4. 「消防サイレン訓練」について

①9月1日「防災の日」に行われた消防サイレン訓練についてですが、東北地方太平洋沖地震が発生した14時46分に合わせて、市内の消防施設等に設置されている消防サイレンによって津波警報音を一斉に鳴らす訓練内容が行われました。

しかし、当時、市内各所で鳴らされたサイレンの音量がとても小さくて、ほとんど聞こえなか

ったといった声が多く聞かれました。訓練であっても、ある程度の現実感を持って行わなければ訓練にもならないと思いますし、この鳴り方が津波警報なのだと市民が認識できなければ、結果として次の行動に移れず、ややもすると大惨事につながることもなりかねません。したがって、次以降については、市民にしっかりと聞こえるような改善策が必要と思いますが、お考えを伺います。

5. 「防災教育」について

①東日本大震災後、現在見直しが行われている地域防災計画や施設整備など、全国的に急ピッチで進められています。未曾有の大災害の爪あととは極めて深く大きな傷として未だ癒されることなく被災者を苦しめています。

この災害を機に、防災に対する知識や危機管理意識などの向上に向けた「防災教育」の必要性が高まってきていますが、地震・台風などの自然災害を、自分自身への身近な危険として認識し、必要な知識を持ち、日ごろからその備えをすることが、災害の被害を防ぐ上でもっとも有効な対策です。特に、子どもの頃からこのような知識を教育する事は、大人になっても活かされると考えますし、地域ごとに防災教育を進める上で相乗効果もあるのではないのでしょうか。そこでお尋ねしますが、児童・生徒に対する「防災教育」の考え方について、お考えをお聞かせください。

②次に、子どもたちの避難についてです。東日本大震災では、多くの子ども達が罹災し尊い生命が奪われてしまいました。中でも、学校として災害時に的確な判断が下せず、最悪の結果を招いてしまった例などもあり、やはり災害の種別ごとに避難方法や経路などについて学校や先生がしっかり把握してはならないと思います。又、避難訓練についても災害の種類に分けて適宜訓練を繰り返すことがいざと言うときに効果を現すものと思います。これからの避難訓練について、今後どのような対応を考えておられるか伺います。

6番 千葉正威 議員

1. 災害弱者の避難支援対策の取り組みについて

①災害で様々な困難に直面する障がい者。東日本大震災に遭った障がい者の問題点が浮き彫りになりました。高齢者を含め災害弱者の避難を手助けする対策を急がねばなりません。どこに避難させるかなどを具体的に定める個別計画を含め、避難支援計画の策定状況、災害弱者の名簿の整理状況について伺う。

2. 小中学校における防災教育の取り組みについて

①教育委員会として、防災危機管理マニュアルの作成状況とあわせ、防災教育の取り組み状況について伺う。

3. 改正障がい者基本法を受けた我が市の取り組みについて

①障がい者の政治参加や司法手続きなどの点で一定の前進がありました。投票所のバリアフリー化、障がい者が刑事事件などの関係者になった際意思疎通の手段の確保などが新たに盛り込まれました。又、東日本大震災で障がい者への情報伝達がうまくいかないケースがあり、障がい者の程度や生活事情に応じた防災・防犯施策を講じることを義務付けました。以下、3点について伺う。

イ. 公共施設のバリアフリーの取り組み

ロ. 安心と安全を確保するための防災・防犯に必要な施策について

ハ. 障がい者の家族が差別を受けないための支援

4. 読みが困難な発達障がい児などのためのデジタル教科書（デジ教科書）の積極的な活用について伺う

①デジ教科書は画面の背景色や文字の大きさ、読み上げ速度などを自分で選べるため、音読へのハードルが下がったと言われているが、効果の認識について伺う。

②読み上げ音読を聞きながら音読することで読み方の間違いを自ら認識できる点があげられますが、我が市における発達障がい児等の実態と対応について伺う。

5. 弱視児童の学習環境改善の取り組みについて伺う

①弱視の子どもが使う「拡大教科書」が2011年から小学校用のすべての教材で出版されます。12年には中学校用も全教科で用意されます。平成20年6月に「障がいのある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律」により障がいのある児童及び生徒のための教科用特定図書等の発行の促進を図るとともに、その使用の支援について、必要な措置を講ずること等により、教科用特定図書等普及の促進等を図ることが明記されていますが市内の弱視児童の現状と対応について伺う。

12番 蜂谷三雄 議員

1. 3. 11大震災の痛切な教訓と今後のまちづくりについて

①災害に強いまちづくりの課題を行政の土台に必要な施策を系統的、計画的に推進を。

②原発依存から撤退し再生可能エネルギー転換への表明と取り組み、エコポイントの導入を。

③地域防災計画の見直し作業の進ちょく状況はどうなっているか。

2. 7月、8月、9月と連続的に発生した豪雨災害対策について

①特に浜益区、厚田区の豪雨災害は昨年引き続くもので、その災害復旧の迅速な対応を求めたい。更に、近年の局地的集中豪雨は常態化しており、治水計画の抜本的な見直しも必要と考える。

3. 入札制度について

①競争性、公平性の確保はなされているか。

4. 次介護保険事業計画について

①第5次介護保険事業計画の策定作業が進んでいると思うが、以下の事項について伺いたい。

- イ. 保険料の引き上げ抑制に最大限の努力を
- ロ. 第5次計画の施設整備計画について
- ハ. 介護保険改定による介護抑制の影響はないか

5. 一般廃棄物処理基本計画について

①前回は質問したが、関係法令や指針に照らし、現在の本市のゴミ処理行政の問題点を質したい。

6. 教育行政について

①教育行政に関して住民からの訴訟や前教育長はじめ不詳事が続いたが、どのような処置とけじめをつけたか。

7. 浜益区床丹川の治山ダム工事について

①過去の治水上必要不可欠な事業とは考えられない。工事中止を含め慎重な対応を求めたい。

14番 棟方加代子 議員

1. 福祉避難所について

- ①災害時の福祉避難所として医療機関や福祉施設との協議内容と具体策について
- ②市が指定している避難所のバリアフリー化の考えについて
- ③指定避難所に医療等の専門スタッフを配置する考え方について
- ④災害時の移動に支援を必要とする方への対応として自主防災組織と連携する考えについて

2. 地下水利用について

- ①今後の水道としての地下水利用の考えについて
- ②地下水利用ができなくなった場合の新港の企業誘致への影響について
- ③現在稼働している企業の動向調査について

3. 床丹川の治山ダム建設について

- ①床丹川に治山事業を要望した経緯について
- ②市が建設を要望する前に地域住民との意見交換は行われたか
- ③石狩市総合計画の豊かな自然を守る観点から治山ダムが自然に与える影響をどのように考えているのか

- ④市として「北海道生物多様性保全計画」を策定した北海道に対し建設の中止を求める考えについて

4. 特別支援センター事業について

- ①今年度の支援員配置期間を3月までとする考えについて
- ②次年度の支援員配置について

5. 特別支援教諭について

- ①専門性を持った教諭配置について
- ②教諭のスキルアップ対応について

17番 加藤 泰博 議員

1. 福祉利用割引券について

- ①福祉利用割引券で市内ガソリンスタンドでの自家用車への給油ができる制度が今年度から始まりましたが、これは市民からの要望ですか。それとも市側の発案ですか。
- ②この制度を重度の障がいのため、公共交通機関の利用が困難な方のために、別途、福祉タクシー利用券のように独立した制度にして福祉タクシー利用券と同額、もしくはそれ以上に市内ガソリンスタンドでの自家用車への給油ができるようにならないか。

2. 広域農道の吹き溜まり対策について

- ①高富大橋から高岡越線までの間に防雪柵の設置はできないか。

3. 石狩中学校について

- ①校舎の外壁の汚れがひどく目立つので塗装の必要性があると思うが考えは。

4. 聚富地区にある残置廃棄物の処理について

- ①道は今でも監視、指導をしてくれているのか。
- ②市から道に処理を早めるよう要請できないか。